

② ペアの話し合いを活用した授業検討会

※宮城教育大学 相澤秀夫教授の提案を基に構成

ア 特徴

協議の視点を明確に持ち、参観者一人一人が、授業改善の提案等について必然的に話すことを求められる検討会

イ 事前準備


○授業参観をしながら、児童生徒の学びの姿を記録シートに記入する。

<記録シート例>

教師の指示・発問	児童生徒の学びの姿	記録者の判断・提案
(記入例) 2分の1と4分の1ケーキでは、どちらが多く食べられるか。画用紙に図で表せ。	(記入例) Kさんが、水槽図を書き直していた。	(記入例) 目盛りの大きさが合わない気付いた？ 個別の声がけは？ ※口頭でも可

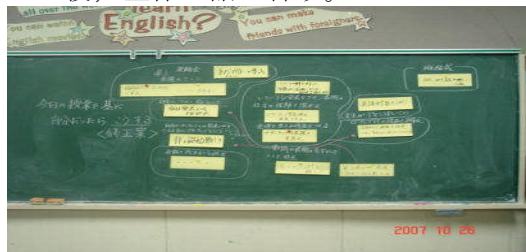
○ペアの組み合わせ、座席の配置をあらかじめ決めておく。

ウ 検討会の過程 <約90分の時間設定>

	主な項目と時間	形態	内容・留意点
導 入	1 オリエンテーション<5分>	全体	1 司会者が、協議の視点(ねらい・手だて・児童生徒とのかかわり)、検討会の在り方、時間配分等を確認する。
	2 授業者からの説明<5分>	全体	2 授業者が、児童生徒への思いや願い、本時のねらい(どんな力を身に付けさせたいのか)、手だての工夫(提案)等を語る。
展 開	3 協議 I ☆授業者からの提案を基に 		3 本時のねらい、手だて(提案)に関する協議を行う。例えば、国語の授業では…… ◇ねらい：表現の工夫を手がかりに、話し手の意図をとらえる聞き方を身に付ける。 ◇手だて I 話し手の意図が聞き取れる自作教材 ◇手だて II ペア学習による学び合い
	① ペアでの意見交換 <10分> ○ねらい ○手だて(提案) I ○手だて(提案) II	ペア	① ペアでの意見交換 自己紹介とあいさつからはじめる。自分の授業記録を基に、 一人ずつ 意見を述べる。司会者は「右手の人から述べてください。」といった指示を出す。それぞれが意見を述べた後、自由に語り合う。
	② ペアからの発表<20分>	全体	② ペアからの発表 ペアの片方が、 二人分 の話し合いの



<p>③ 成果と改善策の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇司会者による成果の確認 ◇ペアによる改善策の検討 ◇個別の改善策発表と全体での意見交換 <p style="text-align: right;">〈15分〉</p>	<p>全体 ペア 全体</p>	<p>内容を紹介する。司会者は、はじめに名前が呼ばれた方が発表するといった約束を決めておく。例えば、「太郎君と花子さんのペア、お願いします。」の場合、太郎君が発表というように。</p> <p>司会者は、必要に応じて授業者の発言や説明を求める。</p> <p>③ ②の発表を基に、成果と課題を確認し、改善策を検討する。</p> <p>可能ならば、改善策のキーワードを個別に短冊に記入し、黒板等に貼付した後、全体で話し合う。</p>
<p>4 協議Ⅱ（必要に応じ設定）</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">【Q】「どんな話題を取り上げるの？」</p> <p>① ペアでの意見交換</p> <p style="text-align: right;">〈5分〉</p> <p>② ペアからの発表と全体での意見交換</p> <p style="text-align: right;">〈15分〉</p>	<p>ペア 全体</p>	<p>4 司会者がねらいや手だて（提案）以外の価値のある話題を示し協議する。</p> <p>① 再びあいさつをし、二つめの話題について、前とは違う順番で意見を述べ合う。</p> <p>② ペアの片方が、二人分の話し合いの内容を紹介する。（いくつか続ける。）これを基に、さらに全体で協議を深める。授業者にも意見を求める。</p>
<p>まとめ</p> <p>5 指導助言 〈10分〉</p> <p>6 授業者と研究主任等（共同研究の代表）によるまとめ</p> <p style="text-align: right;">〈5分〉</p>	<p>全体 全体</p>	<p>5 授業改善の思いを踏まえた助言。</p> <p>6 授業者と研究主任等が、ねらいの達成状況や指導の手だての成果と課題をまとめ、次へつなげる。</p>



エ その他

司会者と授業者は、ペアでどんな話し合いがなされているのかを、座席を巡回しながらとらえることが望ましい。なぜなら、司会者は意図的なペアの指名に生かすことができ、授業者は、さらに説明しなければならないところが見えてくるからである。

<Q&A>

【Q】：協議Ⅱではどんな話題を取り上げればよいのか？

{A}：授業参観の中で、ねらいや手だての工夫にかかわらずとも、提案授業の本質に関する話題である。司会者だけでは決めかねるときは、助言者等に相談する。例えば、道徳の授業での「発問とは」、国語の授業での「音読の効果とは」といった内容。